

# 知事随想



栃木県知事 福田富一

## 『フードバレーとちぎ』を目指して

本県は日光や那須など世界レベルの観光地を有し、鬼怒川・塩原といった温泉や、日本のいちごや餃子が有名だが、最近では素朴な「栃木弁」にも人気が出ている。また、全国で四番目に第二次産業の割合が高い「ものづくり」県であり、自動車・航空宇宙産業や医療機器産業など大手優良企業や技術力の高い中小企業の集積が本県の強みである。

一方、本県は関東一の面積を有し、広大な農地に恵まれ、農業や畜産業も盛んであり、首都圏の「食」を支える生産基地でもある。特にいちごの生産量は四十一年連続日本一、生乳生産量は北海道に次いで全国第二位であり、昨年の全国肉用牛枝肉共励会では「とちぎ和牛」が第一位となった。また、良質で豊富な水資源があることから、大手の肉や生産業者が立地し、日本一の生産量を誇っている。私は「農業」は首都圏に隣接する本県を支える重要なアイデンティティの一つだと思っている。

また、田畑を産業資源としてのみとらえるのはもったいないことだ。本県の田園風景は本当に美しく、そこには自然の恵みへの畏敬の念がこもった祭りや伝統行事がまだ数多く息づいている。私は他県の方々にはもちろんだが、本県民にこそ、その良さを再認識してもらいたい。そこで昨年度から『とちぎのふるさと田園風景百選』事業に着手し、残すべきふるさととのイメージを県民から募集しているところであり、平成二十二年度中に選定を行いたいと考えている。田園風景を舞台にして、住む人々も訪れる人々も、子供から高齢者まで年齢に関係なく参加できる、郷土愛と創意に富んだ地域コミュニティを作り上げることにつながってほしい。

さて、近年、地産地消や食育など、安全・安心な「食」を求める声が一層高まっている。また、食料自給率が日本全体で四一%と低迷する中で、本県は首都圏の「食」を支えるため、豊かな自然環境を生かし、美味しく安全な農産物・加工食品をお届けするための産業体制をしっかりと整えたい。そして、その生産基地たる栃木にさらなる活力を与えたい。

今注目すべきは「食」というキーワードだ。「食べる」ということは「命をつなぐ」ことであ

り、誰もが食べなければ生きられない。政治・経済状況がどうなったとしても、「食」は人間にとって必要不可欠なものだ。また新鮮で、楽しく、美味しい「食」は、住む人々、訪れる人々の心をやさしく満たし、人生を豊かにしてくれる。

そのような考えの下、「食」をテーマにした地域イメージのブランド化に取り組んでいる。その一つが、「とちぎブランド」を全国に情報発信すべく、平成二十年度からスタートした『とちぎ食の回廊づくり』である。いちご、そば、あゆ、牛乳など、地域の魅力ある農産物を「食」資源として、県内各地の歴史や文化、景観などの資源と有機的に結びつけ、県内に「街道」を形成する事業であり、訪れる人々が地域の魅力を広がりをもって楽しめるようにしている。既に「いい芳賀いちご夢街道」や「足利佐野めんめん街道」、「那須高原ミルク街道」など九つの街道ができています。取組みのきっかけは行政が提案したものだが、今では各街道の協議会が自立的に運営にあたっている。各街道は独自にスタンプラリーやPRイベントを実施したり、地元の商工関係者と連携して新商品や新メニューを開発するなど、自ら知恵をしぼり、訪れる人々を喜ばせる企画づくりを行っている。地域活性化のための民間・住民との「協働」の実践事例の一つでもあり、大変喜ばしく頼もしく思っている。

この取組みが一定の成果を上げている中で、今後は一次産業から三次産業までの連携を図り、「食品産業」の振興を図っていきたいと考えている。今まで本県は外需偏重の産業構造であったため、今回の世界不況の影響を大きく受けた。そこで、内需型産業の振興を図り、不況に強い産業構造としたい。そしてこれまでの食のブランド化の取組みと食品産業の振興の取組みを車の両輪として、『フードバレーとちぎ』を目指したいと考えている。

食品産業は素材提供者としての農業、地元食材を利用する食品製造業や外食産業等、生産から加工・流通・消費に至るまで、関連する産業が幅広い。食品産業の活性化が地域振興に大きな波及効果をもたらす。本県の良質で豊富な水などを生かした大手飲料・食品製造企業に、今にも増して立地・集積することにより、多くの雇用が確保されるとともに、地場に根付いた中小企業が、大学等との連携により、豊かな地域資源を活用した新商品開発を行い、国内外への販路開拓を積極的に実行し、それぞれの得意分野で成長・活躍する…このような姿を目指し、取組みを始動させたところである。平成二十二年度は「とちぎ食品産業サミット」を開催する予定だ。

これらの取組みで栃木をさらに「元気」にしたい。そして読者の皆様もぜひ元気な栃木に会いに来てほしい。

